

第34回 危険物保安技術講習会

事故防止調査研修センター

当協会は、都道府県及び消防機関等の危険物行政事務に従事されている職員の方々を対象に、危険物行政及び石油コンビナート等防災行政に関する最新情報の提供を目的として、昭和61年から「危険物保安技術講習会」を毎年度開催し、今回で34回目を迎えました。

今年度は、7月4日・5日に東京会場（科学技術館サイエンスホール）、7月18日・19日に大阪会場（大阪科学技術センター）の2会場において開催し、全国各地から東京会場へは208名、大阪会場へは197名の合計405名の方々のご参加をいただきました。

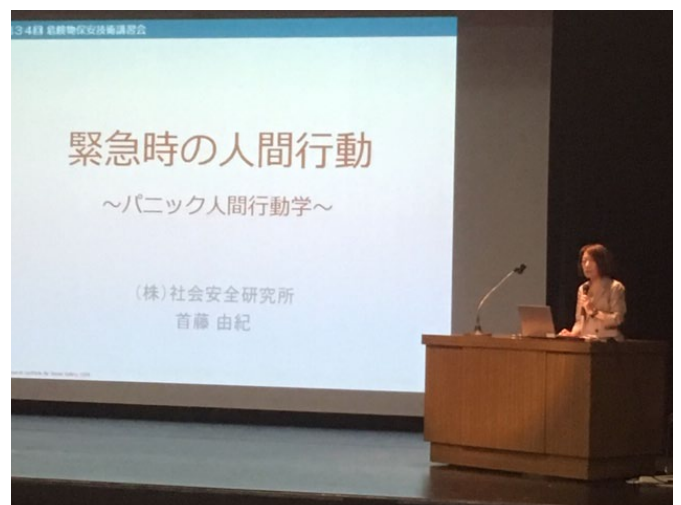
基調講演では、株式会社社会安全研究所 所長 首藤由紀 様から「緊急時の人間行動～パニック人間行動学～」と題し、「災害時や緊急時に慌ててしまった人間はどのような行動をとるのか？ いざと言う時に慌てないため、落ち着くために、どうしたらよいのか？ 各分野の事例を用いながら、緊急時の人間行動の特徴とその対策」について、ご講演いただきました。

また、消防庁危険物保安室長からは、「危険物行政の最近の動向について」、特殊災害室長から、「石油コンビナート保安行政の動向について」のご講演をいただきました。

さらに当協会から、「屋外タンク貯蔵所の基準に係る比較解説 特定（新法、新基準）・準特定の違いについて」「最近の性能評価・試験確認業務の現状について」「屋外タンク貯蔵所の基礎・地盤の概要と地下タンク貯蔵所のタンク室等に係る評価について」「新技術を活用した保安設備等に関する調査研究について」「セミナー・研修会について」をテーマに説明いたしました。

参加者からは、「具体的な災害事例に基づく人間心理の考察は現場活動においても参考となる内容であった。」「特定・準特定・新法・旧法の違いが非常に分かりやすかった。」「性能評価について良く理解できた。事業所に紹介しようと思う。」「KHKの取組み、事業内容を知ることができた。」「危険物行政の最新動向や事故事例など大変参考になった。」などの感想をいただきました。

当協会では、これからも皆様のお役に立つ内容の講習会を企画してまいりますので、引き続きご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



講習会風景（左：大阪会場、右：東京会場）